

自社技術の高度化による 医療用針等の製品開発

九州オルガン針 株式会社

設備投資

事業者の概要

企業名	九州オルガン針 株式会社	業種	ミシン針製造・精密部品製造販売
代表者名	代表取締役 高沢 昌則	T E L	0968-85-3131
設立	昭和45年6月	F A X	0968-85-3559
住所	熊本県玉名郡玉東町稲佐宮ノ下288番地	U R L	https://www.kyushu-organ.co.jp/
資本金	1億3,500万円	E - m a i l	r-eto@kyushu-organ.co.jp
従業員数	143人	担当者名	江藤 怜

事業内容・経緯

当社は2020年に創業100周年を迎えるオルガングループの企業として創業以来、工業用ミシン針の製造を続けている。オルガングループにおいて工業用ミシン針の製造は世界トップシェアを占めており、針製品製造に関わる機械の製造ノウハウも持ち合わせているのが特徴である。しかしながら、工業用ミシン針の業界に目を向けると、衣類の裁縫はアジアの大規模工場に集約されつつあることなどから、今後当社においてミシン針の需要増が見込みづらい背景がある。

そのような中、当社では10年ほど前から精密部品部門を立ち上げ、針製造および針製造用機械製造のノウハウを生かした新たな分野への挑戦を始めた。現在、精密部品部門の売上高は全体の10分の1ほどであるが、後は主力事業として展開していきたい。

事業の成果

精密部品部門の主力化に向け、CNC精密旋盤を導入。これまで精密部品は職人が人の手で加工してきたが、同旋盤を用いた自動生産機の開発により精度、スピードともに向上し、生産コストの削減にも成功した。同時に、同旋盤のシステムを用いて、長らく当社社員が培ってきた生産機製造技術の継承およびデータ化を実施することで、さらに付加価値の高い部品の製造が可能となった。これにより当社の針製造のノウハウを集結した製造機械製造が実現できる体制が整った。

精密部品部門ではOEM供給を続けているが、以前はベトナムや長野県のオルガングループ工場に生産機の開発・製造を委託しており、受注から生産開始まで時間を要した。しかし、CNC精密旋盤の導入により生産機試作等の時間短縮だけでなく、リアルタイムで設計を提案できる営業体制も整った。自社で提案から生産機設計・製品加工まで一貫して対応することで顧客満足度の向上に大きく寄与できていると考えている。

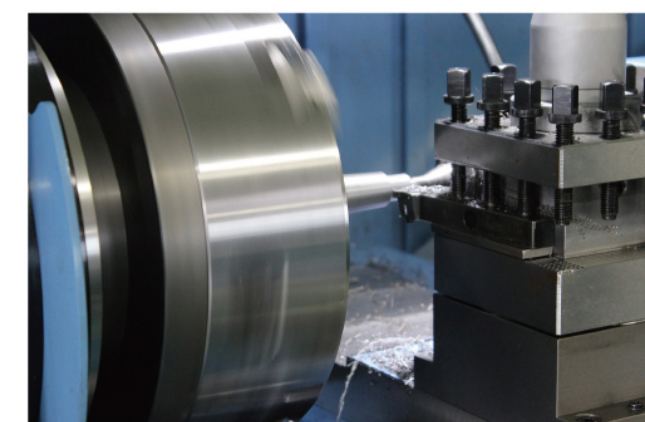
今後の展望

CNC精密旋盤を用いることで約100年培った針製造ノウハウを基にした生産機開発が可能になり、新たな精密部品が製造できるため、今後さらなる活用を模索している。また新たに可能となった提案型の営業では新規の受注に注力し、精密部品生産の市場開拓へと繋がると期待している。同部門ではアパレル関連、医療関連機器などあらゆる分野に参入できるが、特に医療関連機器の部品製造に力を入れたいと考えている。医療用針全体でもこれまで取引を行っていた透析用カテーテルのガイド針などをはじめ、市場拡大が見込まれるため、高品質な製品の需要拡大が予想される。

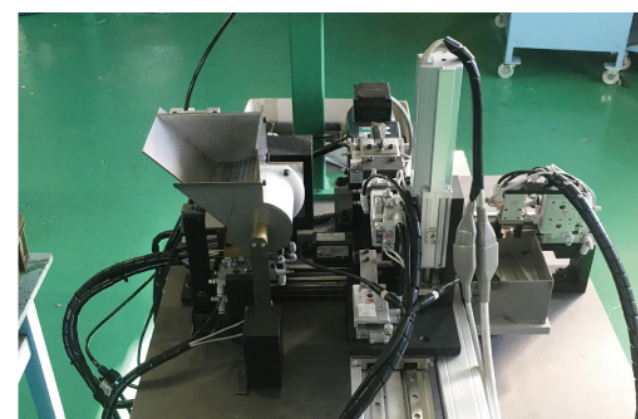
精密部品部門では新規案件の内作・製品化で増収が実現でき、後はさらに主力事業として確立させたい。当社が持つ強みとして、世界トップシェアを占める針製造技術や、製造用機械の製造も手掛けるノウハウがある。それらをデータ化し改良を進め、より良い製品作りにつなげることが使命と考えている。



▲今回導入したCNC精密旋盤



▲CNC精密旋盤は材料に螺旋加工を施しオリジナル部品を製造する



▲精密部品部門では設計から組み立てまで一貫して行う。写真は自社で生産した部品を組み合わせた製造装置



▲玉東町稲佐の九州オルガン針の社員一同